INFORMATION 【期間：平成24年～25年】

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金沢大学十全医学会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/31514

INFORMATION

【期間：平成24年ー25年】

特別講演会

テーマ：平滑筋臓器の病態生理学

韓国薬理学会の研究者を招待して，血管および消化管の平滑筋臓器の病態生理と治療薬開発について，講演をしていただきます．

開催日時：2012年1月10日　16：30～18：30

開催場所：医学類F棟1階　修士課程セミナー室

講　演　1. インギョム　キム　博士（韓国　慶北大学医学部薬理学教授）

演　　題：自然発症高血圧ラットにおけるアンギオテンシン変換酵素およびNa^+-K^+-Cl^- 共輸送体 遺伝子発現のエピゲノム調節

講　演　2. ウイ　ドン　ソン　博士（韓国　中央大学薬学部薬理学教授）

演　　題：食道炎および胃炎の疾患モデル：天然物質および合成化合物の細胞防効果

脳医科学専攻シンポジウム "Neuroscience Day"

開催時間：平成24年1月30日（月）13：00～　　開催場所：金沢大学医学部記念館　2階

内　　容：本シンポジウムは大学院医学系研究科脳医科学専攻13分野が一同に会し，各分野のメインテーマの最新知見の紹介と大学院生のポスター発表を通じて，分野間の交流と共同研究の促進，さらに若手研究者の育成を目的に企画されたものであり，Neuroscienceの一層の発展を目指して行われる．

第3回　Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース

このたび，アメリカ合衆国（USA）における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support（BDLS）プロバイダーコースを前回に引き続き金沢にて開催します．BDLSはBLS，BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり，アメリカ医師会（AMA）が運営するコースです．東日本大震災を経験し，災害に関する知識をもっと深めようと思われている方には最適なコースと思います．講義，スライドは全て日本語で行ない，内容はUSAそのままで開催します．

日　時：平成24年2月20日（月）8：00～19：00　　場　所：金沢医科大学病院本館4階　C4　1講義室

対象者：救急隊，看護師，医師等の医療従事者　150名程度　　参加費：10,000円（テキスト代，登録料含む）

講義内容：8時間の講義，筆記試験（全て日本語です．）なお，受講修了後日，AMAより受講修了書が発行されます．

不明な点がありましたら，金沢大学附属病院　集中治療部　谷口　巧

E-mail: kyukyu@med.kanazawa-u.ac.jp（集中治療部秘書　勝田）　TEL：076-265-2826 もしくは 076-265-2000（内線3423）まで

第24回日本喉頭科学会総会・学術講演会

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中でも発声，呼吸，嚥下など生命の維持のみならず生活の質に大きく関与する喉頭に関して，基礎的，臨床的に専門領域を網羅して総合的に討議・教育する場として喉頭科学のさらなる発展に貢献します．

会　長：吉崎智一（金沢大学医薬保健研究域医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　教授）

会　期：平成24年3月8日（木）～9日（金）

会　場：金沢市文化ホール・金沢ニューグランドホテル

事務局：第24回日本喉頭科学会総会・学術講演会　事務局

金沢大学医薬保健研究域医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　事務担当　室野重之

TEL：076-265-2413　FAX：076-234-4265　E-mail：larynx24th-office@umin.ac.jp

ホームページ：http://www.larynx24.umin.jp

第48回日本腹部救急医学会総会

日本腹部救急医学会は発足当初より“若手の登竜門としての学会”を目指し，救急医療に携わる若手医師の教育を重視した形での運営が行われております．今回の第48回総会が，これからの腹部救急診療を担っていく救急医・外科系医師・内科系医師等の若手医師に“救急医療の魅力”を伝えながら，さらには各診療間連携の拡充を図って腹部救急の医療現場に新しい風を吹き込み，**“救急医療ルネサンスへの新潮流”**となるよう，鋭意準備を進めております．また，本会が，腹部救急医学の進歩発展ならびに普及をはかり，広く社会福祉の貢献に繋がるものであると確信しております．

開催日：平成24年3月14日～15日

場　所：石川県立音楽堂，ホテル日航金沢，ポルテ金沢

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学　TEL：076-265-2362　FAX：076-234-4260

（金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科）

第22回 Neuroscience Seminar

“Kanazawa Revisited. Neuroprotective Approaches in Alzheimer's Disease and the Role of the Microvascular System”

Professor Paul G.M. Luiten

Department of Molecular Neurobiology and Biological Psychiatry, University of Groningen

平成24年3月27日（火）17：00～18：00　金沢大学医学類F棟1階修士課程セミナー室

このたび，オランダGroningen大学Paul G.M. Luiten教授をお招きして，アルツハイマー病に関するセミナーを開催致します．

Luiten教授は，神経生理学を主とした神経科学研究の第一人者で，これまで250に及ぶ論文を国際誌に発表されております．最近は，アルツハイマー病の病態や治療薬開発についてインパクトのある研究成果を多数，発表しておられます．

今回，来日された機会に，金沢大学においてもご講演をお願いいたしました．大変興味深いお話を拝聴できるものと思います．大学院生や学生の皆さんもお気軽に御参加ください．

北陸実験動物研究会 第16回総会・第42回研究会

北陸3県の実験動物研究者，技術者，実験動物取り扱い企業の情報交換の場として，今年も4月28日土曜日の午後より，医学類G棟の講義室で表記研究会を開催した．今回は午後の総会に引き続き，14時より学内公開にて「タンパク質分解の分子機構」をテーマとした2題の講演を行った．細胞内タンパク質分解の二つの主要な経路として，ユビキチン－プロテアソーム系とオートファジーが知られているが，前者からN末端則経路（分解系）について取り上げ，金沢医科大学の田崎隆史先生に「N-end rule pathwayによる細胞内タンパク質分解とその調節の分子機構」と題してレビューしていただいた．また，オートファジーについては，初期胚発生と精子形成過程における役割について，東京医科歯科大・水島昇先生の研究室出身で，現在は放医研に在籍している塚本智史先生に「マウス初期胚発生と精子形成過程におけるオートファジーの役割」と題して，最新の知見を含めて解説していただいた．

金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は，7-8，1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています．毎回，疫学・統計解析，アレルギー・内分泌代謝研究，社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています．学内外問わず，どなたでも参加できます．

入場は無料で，事前の申込は必要ありません．部分聴講も可能です．

開催場所：医学類F棟1階　修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系　環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218，　hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp　ホームページ　http://publichealth.w3.kanazawa-u.ac.jp/

5月10日（木）

18：00～18：30　中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学　教授）

「論文がアクセプトされるための統計学　入門編」

18：30～19：30　田中純一（北陸学院大学人間総合学部社会学科　准教授）

「東日本大震災1年目の生活課題：陸前高田市広田地区調査結果を参考に」

第40回北陸産科婦人科学会総会ならびに学術講演会

会　期：平成24年6月10日（日）
会　場：石川県政記念しいのき迎賓館
会　長：井上　正樹（金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学　教授）
事務局：〒920-8641　石川県金沢市宝町13-1
金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学教室内
第40回北陸産科婦人科学会総会ならびに学術講演会事務局
学術講演会実行委員長：野村　一人［担当：橋向］
TEL：076-265-2425　FAX：076-234-4266
内　容：特別講演，ランチョンセミナー，モーニングセミナー，アフタヌーンセミナー，一般演題（口演）

第16回へき地離島救急医療研究会・学術集会

このたび，金沢にて，へき地離島救急医療会の学術集会を開催することになりました．へき地離島救急医療研究会は，わが国には未だ多くの医療過疎地域があり，医師不足・救急医療体制の不備などに起因する不十分な救急診療を改善するために，医師供給システム，医師研修システム，傷病者搬送システムを検討し，よりよいへき地・離島医療を実現することを目的に平成9年（1997）年に設立されました．この旨に伴い，今回は「山間部へき地離島救急医療を中心としたシンポジウム」をテーマに開催します．

開催日時：平成24年10月27日
場　　所：金沢大学附属病院　宝ホール
なお不明な点がありましたら，金沢大学医薬保健研究域　医学系　教授　稲葉　英夫
E-mail: hidinaba@med.kanazawa-u.ac.jp　TEL：076-265-2825 もしくは 076-265-2000（内線3423）まで

第83回日本衛生学会学術総会

第83回日本衛生学会総会は，平成25年3月24日から3月26日の3日間，金沢大学鶴間・宝町キャンパスと金沢美術工芸大学のキャンパスで両大学の協賛を受けて開催されます．金沢における衛生学会の開催の歴史を振り返りますと，昭和19年に大谷佐重郎先生，昭和45年に石崎有信先生，平成6年に岡田晃先生が会長を務められておられます．19年ぶりに金沢大学で開催することになります．

本学会は，生活・環境・健康管理の現場に根ざし，基礎研究から実学的な研究活動に関する社会医学の推進の母体として大きな役割を果たしてきました．昨年の東日本大震災およびその後の原発事故による放射能汚染という甚大な被害を経験し，改めて環境保健と予防医学を基盤に本学会の役割を確認したいと思っています．その思いを込めて，今総会のメインテーマを，「生を衛る学問の使命－環境と暮らしの再生を目指して－」としました．さらに，前学会で掲げられた「社会医学のグローバル化」についても引き続き追究していきたいと思っております．

十全医学会の会員の皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます．

第83回日本衛生学会学術総会　　会長　城戸　照彦（金沢大学医薬保健研究域保健学系　教授）